学校通信
平成２７年７月１５日
第５号
発　行
校長　林田靖也

林田靖也校長

6月27、28日にありました郡市中体連夏季大会では、卓球部が団体優勝、個人戦一、二、三位を取る健闘を見せてくれました。また、小国中との合同チームで出場しました野球部も準決、決勝と接戦をものにし見事優勝することができました。また、バレー部は、優勝に一歩手が届かず準優勝に終わってしまいました。個人戦では、柔道の佐藤亮太君、森紫龍君が階級別で優勝することが出来、県大会に出場することになりました。

大会一週間前の選手壮行会では、大会に出場する選手へ「常に『平常心』をもって、『挑戦』する気持ちで、『ネバーギブアップ』最後まであきらめないプレー」この3点をしっかり意識し大会に臨んでほしいと激励しましたが、すべての競技で、選手諸君はこのことを実践し応援していただいた保護者の皆様へ感動あるプレーを見せてくれたと思います。

保護者の皆様には、早朝からの送迎並びに応援誠にありがとうございました。

特集　ＰＴＡ教育講演会

7月9日(木)に、授業参観並びに家庭教育講演会を開催しました。講師として、現在上益城教育事務所学校支援アドバイザーの野田幸孝先生をお招きして「二度とない人生だから」と題して講話を聞く機会を持ちました。

講話では、「たった一人の自分をたった一度の人生を本当に生かさなかったら　人間、生まれてきた甲斐がないじゃないか」と「路傍の石」の一節を引用され、中学生期は、人生を一日に例えたらおよそ5時に当たる。まだ日が出ていない時間帯である。可能性は無限に広がっている。豊かな社会の中で、労をせず手に入る物がありすぎるし、手をさしのべすぎていないだろうか。この時期、自ら考え困難を解決する力を付ける時期ではないか。自立するための準備をする時期ではないかと話されました。我々大人は、子の鑑、手を離して目を離さない教育が必要ではないかと自らの経験を基に熱く話されました。

何人かの保護者の方からは、「とてもいい話でした。もっと話を聴きたい」という声を聞き、またいつか機会があったら野田幸孝先生をお呼びしたいと思った講演会でした。

2年生職場体験

7月1～3日、南小国町、小国町の両町12事業所で2年生の生徒27名が職場体験に取り組みました。

将来社会に出て働くことの意義には、良く三つの視点が重要であるといわれます。

一つ目に、生きがいです。その仕事を通して自分は必要とされているという自覚と共に職場内での人間関係をスムーズにしていくコミュニケーション能力を身に付けていかなければなりません。

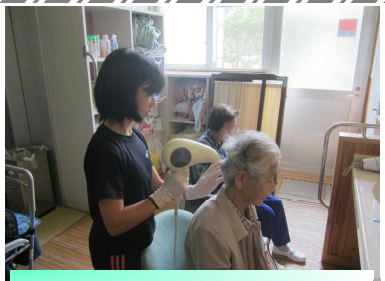
二つ目は、社会貢献です。その仕事を通して、まわりから感謝されているという喜びを味わい、社会のために尽くしていこうとする使命感をもつことです。

三つめは生活費を得ることです。仕事の報酬として得た費用で我々は将来設計を立てていかなくてはなりません。

また、様々な仕事には、その仕事に応じたスキルがありますが、共通して言えるのは、「挨拶を忘れない」「時間を守る」「相手のことを考えて行動する。」ことだと思います。

生徒諸君は、それぞれの職場で、これらのことを直接肌で感じたのではないかと思います。

受け入れていただいた各事業所の皆様には、本当に感謝しています。


りんどう荘での体験活動

ダイジン自動車での体験活動

あっぷるみんとでの体験活動

中原保育園での体験活動

町長ミニ講話

7月13日（月）の給食前の集会の時間に、髙橋周一南小国町町長をお招きして、生徒に講話をしていただきました。髙橋町長ご自身の学生時代のこと、社会人になってからのことなど、これまでの経験をふまえながら、わかりやすくお話しになりました。

その中で特に、「目標を持つことの大切さ」を生徒たちに伝えていただきました。

髙橋町長が、高校や大学に「入学すること」自体を目標にしていたので、学生時代は目標を見失いそうになったこと、地元に帰ってきてからは、「皆が住みよい町にする」ことを目標に取り組んでこられたこと、そして、町長になった現在は、「幸せを実感できる南小国町へ」という目標を持っているということを熱く語っていただきました。

最後に、「人からやらされている状態ではなく自分から率先してやっていくこと、目標を持って行動することで自分の頭で考えるようになる」、そして「目標を、初心を忘れずに中学校生活を送ってほしい」というメッセージを生徒たちに送っていただきました。

生徒は髙橋町長のお話を熱心に聴いていました。今の自分と照らし合わせて、「目標を持つ」ことの意義をしっかりと心に刻みつけたと思います。

髙橋町長様には、お忙しい中こうした貴重な機会を設けていただき誠にありがとうございました。

編集後記

梅雨も半ばを過ぎ青空が待ち遠しい季節になりました。また赤道付近の海水温の上昇に伴う異常気象が、ここ数年気になるところです。

現在、台風十一号が、十七日未明に四国地方に上陸する恐れがあり、ここ南小国にも影響が出る可能性があり、各家庭でも十分な安全対策を子どもと一緒に行っていただきたいと思います。

以圖依例舉隅